

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

<p>①チーム名 (呼称)</p>	<p>大和郡山市家庭教育支援チーム (呼称：特定非営利活動法人 パパちから応援隊) URL：https://papachikara.jimdofree.com/ Facebook：https://www.facebook.com/papachikara</p>
<p>②活動拠点</p>	<p>大和郡山市の事務所</p>
<p>③活動範囲</p>	<p>奈良県全域</p>
<p>④組織体制</p>	<p>20 人 元幼稚園教諭 元・現保育士 子育てサポーター 会社代表 学童保育指導員 大学講師</p>
<p>⑤活動開始年度</p>	<p>2009 年度 (法人格取得は 2014 年度)</p>
<p>⑥問合せ先</p>	<p>(部署・氏名等) NPO 法人パパちから応援隊 事務所 (TEL)050-5005-8022 (E-mail)yuima-ru@kcn.jp</p>

(2)活動内容について

<p>①活動形態 (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/>保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/>アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) ↳ <input type="checkbox"/>自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/>保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/>その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/>その他()</p>
<p>②活動対象 (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>乳幼児 <input type="checkbox"/>小学生(低学年) <input type="checkbox"/>小学生(中学年) <input type="checkbox"/>小学生(高学年) <input type="checkbox"/>中学生 <input type="checkbox"/>高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>★パパセミナー 対象:生後 2 ヶ月~12 ヶ月の第一子の父母 パパが赤ちゃんに参加し、赤ちゃんとの遊び方とその意義を学ぶ。産後ママへの精神安定につながるコミュニケーションの仕方のコツを伝える。 ママは別室でママ同士の気づきのワークショップ座談会。</p> <p>★ビギナーママプログラム 対象:生後 2 ヶ月~5 ヶ月の第一子の母 「切れ目ない支援」の最初、子どもが産まれて直ぐの子育て不安の強い時期に月齢差のあまり無い子育て仲間と住んでいる地域で出会う仕掛け作り。 育児相談、夫の育児参画、夫とのコミュニケーションなどについて。</p> <p>★パパひろば 父親だけが子どもと共に参加できるひろば事業。 子どもとの遊びの時間を充実。他のパパとの交流。</p> <p>★パパ株アップ講座 子どもの成長と父親の役割、ママとのコミュニケーション、ワークライフバランスについて学ぶ。</p> <p>★祖父母講座 対象:同居別居にかかわらず孫を持つ祖父母 孫家庭への親の肩代わりでない本当の支援の仕方について考える</p> <p>★支援者養成講座 対象:ひろば担当者や子育て支援ボランティア 「親が親として育つ支援」について考える *全ての講座は参加者主体の交流型。気づきを得て行動変容できるようなセッションとファシリテーションを実施している 対象:ひろば担当者や子育て支援ボランティア「親が親として育つ支援」について考える *全ての講座は参加者主体の交流型。気づきを得て行動変容できるようなセッションとファシリテーションを実施している</p>
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・父親が赤ちゃんとの具体的なあやし方と意義を知ること、父親自身に子育て意欲が出てくる。父親が自主的積極的に育児に関わることが、母親の精神安定につながり、産後鬱予防になる。母親同士で思う存分話しながら、日頃の子育てや夫婦関係をふりかえり、気づきを得られやすい。母親も赤ちゃんから一時離れてストレス発散になって喜ばれている。地域限定にしているので、連続セミナー後も日常的に家族ぐるみで交流ができていく。 ・子育ての主体は父母、祖父母はあくまでも見守る支援者だということを、祖父母世代が認識することが大切。本当の子育て支援について共通理解しながら、孫との関わり方に気づいていくなかで、自分だけが辛いのではないという共感を得られたり、育児に前向きになれる。 ・祖父母が娘息子のため、孫がかわいいからと孫の世話を買って出ること多い。子育ての主体は父母、祖父母はあくまでも見守る支援者だということを、祖父母世代が

	<p>認識することが大切。本当の子育て支援について共通理解しながら、孫との 関わり方に気づいていく</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p> <input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (民間助成金等) </p>